

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式					
M343H303		クリニカルオンコロジー (Clinical Oncology)					先進領域融合科目群	対面(含 オンデマンド型)					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態					
選択	2	3	医学部先進医療科学科	前期	金4	日本語		オムニバス					
担当教員	氏名 田仲 和宏、猪股 雅史、小副川 敦、秦 聡孝、大津 智、河野 康志、渡邊 哲生、緒方 正男、後藤 洋徳、札幌 博貴、波多野 豊、枝園 忠彦、 E-mail ktanaka@oita-u.ac.jp 内線 5872												
授業の概要	様々な悪性腫瘍(がん)について、発がん機構を含む基礎的事項、診断、治療、予後因子等の臨床的事項について、最新のエビデンスと臨床経験に基づき学び、がんの全体像について理解する。												
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)						
目標1	各がん種の発がん機構を述べることができる。						1	2	3	4	5	6	7
目標2	各がん種の診断について述べるができる。												
目標3	各がん種の治療について述べるができる。												
目標4	各がん種の予後因子について述べるができる。												
目標5													
目標6													
目標7													
目標8													
目標9													
目標10													
各DPへの関連度(計10)							10						
授業の内容													
1	悪性腫瘍の発がん機構(病理遺伝子解析の意義)(田仲 和宏)												
2	消化器がん(猪股 雅史)												
3	肝胆臓がん(猪股 雅史)												
4	肺がん(小副川 敦)												
5	乳がん(枝園 忠彦:岡山大学呼吸器・乳腺内分泌外科)												
6	泌尿器がん(秦 聡孝)												
7	婦人科がん(河野 康志)												
8	頭頸部がん(渡邊 哲生)												
9	造血管腫瘍(緒方 正男)												
10	原発不明がん(大津 智)												
11	小児がん(後藤 洋徳)												
12	骨軟部腫瘍(田仲 和宏)												
13	脳腫瘍(札幌 博貴)												
14	皮膚腫瘍(波多野 豊)												
15	総まとめと小テスト総括、症例検討、課題(田仲 和宏)												
ラーニング オブ グ	A:知識の定着・確認	A;小テストによる自己評価					工 夫 そ の 他 の						
	B:意見の表現・交換	B;レポート提出											
	C:応用志向	C;症例検討によるチュートリアル											
	D:知識の活用・創造												
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	配付資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する(39h)。											
	事後学修	授業での学習を活かし、小テストや配付資料を用いて復習する(29h)。											
	想定時間合計	68											
教科書	教科書は指定しない。 授業中に配付するプリント小冊子を使用する。												
参考書	日本臨床腫瘍学会編「新臨床腫瘍学(改訂第6版)」南江堂、2021年、ISBN978-4524227396												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	小テスト	10%										
	チュートリアル	10%										
	課題レポート	20%										
	定期試験	60%										
注意事項												
備考												
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の実務 経験	附属病院等の医師											
実務経験を いかした教 育内容	各種がんの基礎的、臨床的事項について、最新エビデンスおよび臨床経験に基づいて講義する。											